

HP を立ち上げる目的は？



いま ひろし
今井 洋

今井歯科医院
〒272-0133 千葉県市川市行徳駅前1-13-9

急増する歯科医院のホームページ

最近、電話で「ホームページを作りますか」という勧誘が多くなってきた。読者の先生方の中にもそのような電話勧誘を受けられた方は多いのではないだろうか。また、地域の情報誌や電話帳の広告欄に自院のホームページアドレスを掲載している歯科医院も増えてきた。インターネットで検索中に、同じ地域で開業する歯科医院のページをたまたま見つけてしまうことも多い。

インフラの整備やITの進歩といった社会環境の変化は、ここ数年で私たちの生活様式に加速度的な進化をもたらした。それにともない、人々の生活や価値観も著しく変化してきている。私たち開業歯科医師を取り巻く情勢も同様に目まぐるしく変わってきている。当然、私たちが行う歯科医療の形態も変化していかなければならない。

今回の連載では、私たち開業医に

とっての“歯科医院のホームページ”について、現状や取り組み方について触れてみたい。

立ち上げる目的と実際

ホームページ（HP）立ち上げのきっかけとなるのは、まず自分でインターネットを利用してみて、「その便利さから必要性を感じて」というのがほとんどだろう。また、歯科医師会や同窓会、あるいは地域社会のWEBページに便乗して、というのも多いのではないだろうか。さらに「自分ではまだ先」と考えていたが、“近所の歯科医院がHPを開いたから”負けじと始める方もおられると思う。きっかけはさまざまながら、いずれにしてもインターネットの存在の大きさを実感したことが主な理由だろう。

歯科医師がホームページを立ち上げる目的は、大きく分けて以下のようになるだろう。

① 医院の宣伝広告のため。

② WEB上で主張したいことがある。

③ 趣味の一環として、仲間を集めたい、同人に呼びかけたい。

また、本人には特に目的がなく、所属する会や地域情報、あるいは友人、家族などが勝手に立ち上げる場合もあるだろう。

目的はさまざまだが、“宣伝広告のため”が多くを占めていることは確実だ。ITの進化による情報伝達の変化と、最近の歯科医師過剰状態とが相まって、HPは新たな広告手段として爆発的に浸透してきている。

総務省「通信利用動向調査」によると、2006年のインターネット普及率は個人世帯で87.0%、企業での普及率は99.1%になっている。このうち高速インターネット（ブロードバンド）の普及率は72.2%（2006年2月時点）というのが現状だ。また、GoogleやYahooなど検索システムの高速化により、ユーザーは多くの情報を瞬時に得ることができる。